

大枝中学校ブロックの小中一貫教育

軸となる取組・活動

義務教育卒業時につけたい力		<社会の中で責任を果たし、よりよい未来を創る力>						
将来展望を確かにもち、描く未来に向かって努力を続ける		<ul style="list-style-type: none"> ・大枝の自然を愛し、地球を愛し、人を愛しむ 						
学年または学年区分ごとにめざす姿	きまりをまもる	きまりには わけがある	きまりには わけがある	励まし合い、 高め合う	自分のよさを のばす	将来の生活につ いて考え、夢や 目標を持てる	いろいろな仕事 について知り、 自分の進路につ いて考える	目標を持って、 自分の進路を決 定する
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
取組・活動	・ルールを知つ て、守る。	・ルールを守る。	・ルールやマナ ーを守る。	・ルールやマナ ーを守る。	・理由を理解し、 自覚的にきま りを守る。 ・下学年のお手 本になる行動 をする。	・理由を理解し、 自覚的にきま りを守る。 ・学校のリーダ ーとして、下 学年に働きかけ る。 ・ポスターセッ ションの取組	・中学生として の自覚を持ち ルールを守つ て学校生活を 送る。 ・ファイナンス パークの取組 ・仕事調べ。 ・ポスターセッ ションの取組	・社会のルール やマナーを知 って守ろうと する。 ・チャレンジ体 験。 ・ポスターセッ ションの取組

＜中学校ブロックとしての取組＞

- ・小中の管理職、教務主任、研究主任、生徒指導担当者が中心となり、共通の課題に対する改善の方向性を明確にするために、定期的な情報交換の場を設ける。
- ・学習のきまり・学校生活のきまりについて、ブロック内で統一し、ガイドラインとして全児童・生徒に周知徹底する。
- ・小中の教員の相互研修の場を設定し、指導の一貫性や教育観・指導観の共有を図り、連続したぶれない指導を行う。

学びの約束・ルール

項目	小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
話し方	・聞き手に聞こえる声ではつき り話す。	・場に応じた声で、 はっきりと話す。	・結論や要点を先、理由や例を 後から話す。	・結論から話 す。	・「論理の接続 詞」について 知り、意識し て使う。	・「論理の接続 詞」について 知り、意識し て使う。	・「論理の接続 詞」について 知り、意識し て使う。	・「論理の接続 詞」について 知り、意識し て使う。	・「論理の接続 詞」について 知り、意識し て使う。
聞き方	・聞き手の方を見て、わかりや すく話す。話型を示す ・話し手を見て最後まで聞く。 よい姿勢で聞く。	・理由や例をあげて話す。 ・分かりやすく順序たてで話す。 ・自分の考えと比べながら聞く。 ・うなずきながら聞く。	・聞き手に分かりやすく工夫を する。 ・「まず」「次に」「最後に」な ど順を表す言葉を使う。 ・自分の意見と比べて、考えな がら聞く。 ・必要があればメモを取りなが ら聞く。	・話す内容をあ らかじめ準 備してから、 筋道たてで 話す。	・話している 人の方を見 て、集中して 聞く。	・適切な言葉や 学習言語を 選んで話す。 ・必要に応じて 話し手に質 問ができる。	・適切な言葉や 学習言語を 選んで話す。 ・話し手と聞き 手が対話で きる。	・適切な言葉や 学習言語を 選んで話す。 ・話し手と聞き 手が対話で きる。	・適切な言葉や 学習言語を 選んで話す。 ・話し手と聞き 手が対話で きる。
	<p>『声のものさし』を意識して場に応じた声の大きさで話す。</p> <p>学習中の発言の仕方や話し合いの仕方は『言葉のしたじき』を参考にする。</p>								
ノートづくり	・マスからはみ出さないように 丁寧な字で書く。	・マスの使い方を工夫して、見 やすく書く。	・学習した内容が分かりやす いよう、工夫してノートをつく る。	・「めあて」や 「振り返り」 を書き込む。 ・板書は正確に 丁寧に書き 写す。 ・大切なこと は、色ペンを 使う。	・予習や復習を 書き込む。 ・自らの考えを 筋道たてで書 く ・板書ははばや く書き写す。 ・他の人の意見 をまとめて書 く。	・自らの課題を 整理し書き 込む。	・自らの考えを 筋道たてで 書く。	・他の人の意見 を参考にし て推敲する。	
言葉づかい あいさつ 授業の受け方	・正しい言葉づかいを知る。 ・いろいろなあいさつを知る。 ・元気に大きな声であいさつを する。	・場に応じた言葉づかいがき くようになる。 ・場に応じたあいさつができる ようになる。	・相手の気持ちを考えた言葉づ かい、話し方ができるよう にする。 ・相手を笑顔にするあいさつを する。	・思いやりの気持ちを意識した言葉づかい、話 方ができるようになる。 ・授業前後に「起立」「礼」「なおれ」「着席」のあ いさつをする。 ・授業中の作法を身につける。	友だちは～さんを付けて呼ぶ。（中学校では、君、さんを付けて呼ぶ） 学習中は、～です。～ます。などきちんとした言葉で話す。 相手を傷つけるような言葉づかいはしない。 どこでも誰にでも、気持ちのよいあいさつをする。				